

授業科目区分	科目名 [英文名]		単位	N	S
専門教育科目	野外活動論 [Outdoor Activity]		2		
授業形態	担当教員名			科目ナンバー	
講義 アクティブ・ラーニング	福島 邦男			SM-S2028	
この授業に係る資格					
キャンプインストラクター					
学位授与方針（ディプロマポリシー）との関連					
○	豊かな人間性（広い視野、深い思考力）	○	健康づくりの実践的指導能力		
	食、栄養科学の専門的知識	○	健康生活の知識と技術の修得		
	健康管理の指導技術の修得		実社会に役立つ能力		
○	運動、スポーツ科学の専門的知識	○	社会に貢献できる実践力		
キーワード					
野外活動・野外教育・アウトドア・キャンプ					
授業の目的と概要					
この授業では野外活動を安全に楽しむために必要な基礎的知識や指導法について学び、さらに組織キャンプを中心とした野外での危険予知や危険回避の具体的方法についての知識を身につけることで、豊かな人間性を備えたキャンプインストラクターを目指す。 なお本授業はキャンプインストラクター資格取得のための必修科目となっている。					
学習の到達目標					
野外活動の基礎的理論的理解し、キャンプインストラクターに求められる知識を身につけ実践できる。					
回	テーマ	授業内容			AL
1	野外活動とは	授業概要 用語の定義と「屋外」スポーツとの違いについて			
2	人間と自然	自然とのかかわり 野外活動の目的と意義について			
3	さまざまな野外活動	野外で親しまれる、さまざまな活動について			○
4	野外活動の基礎知識	野外活動のルールとマナー 環境への配慮について			
5	野外活動と健康	野外活動の健康への効果について			
6	基礎技術 読図	地図の種類と読図について			○
7	基礎技術 ロープ	ロープワークの理論と実際			○
8	野外活動とキャンプ	キャンプの意義と目的、その歴史について			
9	組織キャンプ	教育キャンプについて民間団体の活動や環境教育をとりあげる			○
10	教育キャンプ	キャンプにおけるコミュニケーションスキル			
11	指導者の役割と機能	キャンプを中心とした、野外活動における指導者の役割			
12	水辺活動の安全管理	水辺活動中の事故を事例として着衣泳について学ぶ			
13	山岳活動の安全管理	登山活動やキャンプ中の事故を事例として			
14	冬季活動の安全管理	冬季の活動を事例として			
15	まとめ	この講義で取り上げた内容のまとめと課題作成			
教科書及び参考図書					
参考図書：野外活動 その考え方と実際 日本野外教育研究会編 杏林書院 キャンプ指導者入門 （社）日本キャンプ協会 そ の 他 ：必要に応じて資料を配付する。					
準備学習・事後学習					
準備学習（週 2 時間）：授業のテーマに関する情報を新聞や雑誌、インターネット等から入手し、毎回のミニレポート（提出課題）に生かせるようにしておく。 事後学習（週 2 時間）：授業の資料と返却されたミニレポートを保管しておき、事後学習に活用できるようにしておく。					
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法					
フィードバックとして、ミニレポートへの返信等で前回授業の内容や質問への解説を行う。オフィスアワーでも適宜対応する。					
成績評価の方法・基準					
毎回のミニレポート 70% 課題・提出物 30%					
関連科目					
受講上の注意					
日本キャンプ協会公認キャンプインストラクター資格取得には本授業と、夏季アウトドア実習または冬季アウトドア実習の単位が必要である					